



発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
電話 0877-27-3321 (代)
本島通信編集室 R241222-1227-15
奈良県天理市指柳町270-1
本島詰所 〒632-0093
電話 0743-63-1571 (呼)

https://www.honjima.com
Email: webmaster@honjima.com

大教会 朝夕おつとめ時間
【1月1日～1月31日】
朝づとめ 午前6時45分
夕づとめ 午後6時00分

教会長夫妻おたすけ推進のつどい

日時 立教188年1月25日(土)午後1時より
場所 本島詰所4階講堂 参加御供 一人五〇〇円
対象 教会長及び教会長配偶者、直属教会長の認めた者

あけましておめでとうございませす

昨年、教祖百四十年祭に向かう年祭活動二年目の
年は、一人ひとりが陽気ぐらしへと向かう心の成
人のためにご存命の教祖よりさまさまなふしをお
見せいただいたことと存じませす

ふしにこめられた教祖の思召をしつかり思案し、
お互い心を見つめなおし、心の入れ替えにつとめ
てまいりたいと思ひませす

さらに年祭活動仕上げの年である本年は、心定め
た目標完遂に向けて教祖のひながたを胸に勇んで
歩みませす

「斯道会別席団参」では多くの方をおぢばへお連れ
し、別席を運ばれる方も含めて、一手一つに心躍
る陽気な団参をさせていただきませす
本年もよろしくお願ひいたしませす

立教百八十八年 元旦

天理教本島大教会長 片山幹太



あけましておめでとうございます

立教188年 各会より謹んでごあいさつを申し上げます



婦人会本島支部長 片山かおり

新年明けましておめでとうございます。旧年中は婦人会活動の上にお力添えを賜り誠にありがとうございました。いよいよ年祭活動仕上げるの時を迎えました。日々いろんな事がありますが、私達婦人はいつも教祖のひながたを手本に、温かく明るい心で陽気ぐらしを自ら実践し、伝え広げていきたいと思えます。そして、大教会の成人目標や婦人会の成人目標・活動方針を心に置き、家庭や教会を陰で支えていけるよう勇んで仕上げるの一年を通らせていただきますよう。本年もよろしくお願いたします。

青年会本島分会委員長 伊東賢太郎

新年明けましておめでとうございます。旧年中は青年会活動の上に御心を御寄せ頂き誠にありがとうございました。本年も青年会の基本方針である「心を澄ます毎日を送るために「ほこりを減らす」「誠を増やす」という2つのポイントを実践し、「神様の思いはどこにあるのだろう」と悟ることを忘れず、教祖にお喜びいただけるよう通らせていただきたいと思えます。また、本年はマンスリー隊を軸に教祖140年祭仕上げるの年、青年会員で『励まし合い、勇ませ合い、心も身体も動かして』活動してまいります。

少年会本島団团长 大上 道德

新年明けましておめでとうございます。昨年中は、縦の伝道に繋がる少年会活動の上には、多大なるご真実ご丹精を賜り、誠に有り難うございました。教祖140年祭活動仕上げるの年を迎え、少年会活動方針にございます「教祖のひながたを目標に教えを実践し、子供に信仰のありがたさを伝えよう」との方針を柱に本島団の活動を推進させて頂きたいと思っております。

今委員会もお陰様で3年目を迎え、こどもおちばがえりも復活後3年目となります。そこで本島団と致しまして、少年会活動の頂点であります「こどもおちばがえり」に重点を置き、前日7月26日には「本島団おつとめ総会」を開催し、本年の活動をおちばに集結させて頂きたいと思っております。また夏に向って5月の大教会月次祭神殿講話にて縦の伝道講習会を開催して機運を高め、続く斯道会別席団参では、四会の合力で団参を盛り上げて参りたいと存じます。本年も一年何卒よろしくお願申し上げます。

本島学生担当委員長 雲庵 春彦

新年明けましておめでとうございます。旧年中は学生層育成の上にご尽力頂きありがとうございました。年祭活動三年目の本年は、学生自身が自ら考え行事に参加し、おちば、大教会へとつながっていくようにサポートさせて頂きます。何卒皆様方には学生層への丹精、声掛けよろしくお願致します。



心のセンサーを 親神様・教祖に向けて

12月大教会教会長会議

立教187年12月22日

大教会長 片山幹太

歳を重ねることに速く時間が過ぎ去るような気がしております。今年一年間、誠にありがとうございました。大切な年祭活動の第2年目が終わろうとしています。来年は最後の1年、教祖の御心に近づきながら、しっかり御用を果たせられるようなよう、よくに成人させて頂きましょう。

今日は、斯道会のチラシとバッチを各教会10セットずつお配りしております。もっと必要な教会には予備もあります。

このバッチは、キャンペーンバッチです。皆さん着けて頂きまして、できるだけ大勢の方に斯道会別席団の参加を促しましょう。河原町大教会からの連絡事項としては、10年前の赤いバッチを着けて頂いても構わないということです。

皆さま個々の目標、また各教会ごとの目標もあると思いますが、来年は斯道会別席団参も目標に設定して頂き、一人でも多く大勢おちばへお連れさせて頂きましょう。

話は変わりますが、最近様々などころに人感センサーライトが設置されています。大教会の私の部屋の廊下にも付いています。人が通ると感知してパッと点くのです。

私たちの心の向きのセンサーも、親神様、教祖にしっかり向ける必要があるのではないのでしょうか。

真柱様の10月のお言葉の中に、「私は、年頭のあいさつの中で、『おふでさきでは、天災を月日の残念、立腹と仰せられている。それは、この道を通るお互いの心の成人の鈍さに対する厳しいお仕込みだと思っております。どの点をお知らせくださっているのか思索し、気づいたところは改めて歩もう』というようなことをお話しいたしました。」

私たちの親である親神様は、各々が抱えている成人のためのポイントを、様々な方法や手段を用いて私たちに知らせようと、手引きや手入れをふしとして与えて下さいます。

この親神様、教祖の先回りの親心をしっかり私たちの心のセンサーで感知して、我が心の向きを変えていく。時と場合によっては心をしつかり入れ替えていく。そういうことをしていかなければいけないと思います。また、宮森与一郎先生の大教会秋季大祭におけるお話の中でも、「私たちはチャンス逃していないかどうか」というお話がありました。

親神様がせっかく絶好のチャンスをお供え、サッカーに例えると素晴らしいパスを出してくれているのに、最後のゴールを決めかねていてはダメですよ。しっかりとこのチャンスを逃さぬように、これまた心のセンサーを親神様、教祖に向けたと思います。

どうかそういうことを通して励まし合いながら、来年一年しっかり成人の歩み、人だすけの歩みを進めさせて頂きたいと思えます。

最後に、おさしづに「しんどの中に実がある。楽の中に実が無い。この一つの理論し置こう。」(明治32・12・6)とあります。

来年も一年、どうぞよろしくお願ひいたします。

(文責・本島通信編集室)



三代真柱様の 「生きさせていただく」のお言葉に

大教会准役員
横山正次よこやままさつぐ

ご参拝中の皆様方には寒さ厳しい中、また年末のお忙しい中、12月の

月次祭にお帰りいただき、そして只

今は皆様方と共に大教会長様を芯

に本年納めの月次祭を陽気に賑やかに

勤めさせていただきました。誠に

有難い限りでございます。神殿講話

のご指名を頂きましたので、届きま

せんが勤めさせていただきます。ど



うぞしばらくの間お付き合いください。よろしく願います。

思い返せば今年は新年早々能登半

島地震という大きな節を見せられた

ところから始まりました。年が明け

たおめでたい空気も一変させるよう

な大きな出来事でした。そこから始

まって1年。今日にいたるまで、皆

さんそれぞれにとっても、振り返る

と今年1年いろいろなことがあった

かと思えます。

私個人で振り返ってみますと、3

月には父が入院、手術しました。4

月には石川県珠洲市の方に青年会と

一緒にひのきしんにも行かせていた

だきました。7月にはついに私も新

型コロナに感染しました。9月には

叔母の出直しがあり、寂しい思いも

しましたし、アメリカから従妹のファミリーが随分と久しぶりに帰って来て、楽しい時間を持つこともできました。そうかと思うと、10月には母が肺炎で1か月以上入院しました。

ざっと振り返っただけでもいろいろな事が思い出されるのですが、そんな中でも私が今年一番印象深く思い出されるのは、8月26日に本部第二食堂で開かれた「三代真柱様をお慕いする会」でのひとときです。

今年三代真柱様十年祭の年でしたので開催されたわけですが、真柱様ご夫妻、大亮様ご夫妻、更に大亮様の二人のお子様までお出まし下さり、改めて三代真柱様の親心を思い出す、楽しく貴重なひとときでした。そこで今年の締めくくり三代真柱様のお言葉の中でも特に私の中にも強く残るお言葉を改めて思い返して、自分自身の来年への励みとしたいと思えます。

そのお話というのは、今からもう30年以上前のお言葉です。立教153年1月27日の少年会年頭幹部会でのお話です。その一部を抜粋して皆さんにご紹介させていただきます。

「私は生かされているという言葉遣いを聞く時に、これは改まって考え

るというと、なんとも言えない妙な気分になるのであります。そうしたからお前はその言葉を遣わないのかと言われれば、私も遣う場合があるのではありません。自分でも時には口にしなから、なんとなく後味の悪さというものを心に覚えることが、時たまにあるのであります。それはどういふわけであるかと申しますと、何となくそこに消極的なものの考え方を感ずるからなんです。敢えて悪く申しますならば、人任せであって、自主的な責任感が何となく感じられないような気がするところに、自分で遣いながら後味の悪さを覚えているのであります。(中略)そう考えてまいりますと、生かされているという表現の仕方では、何かちよつと口ポットのような気がしてならないのであります。そこで、生かされていることを喜ぶことから一歩進めて、生きさせて頂くことを喜ぶとか、生きる喜びを味わう、ということを次第に教えなければならぬのではないかと思います。」

一部抜粋ですが、三代真柱様はこのようなお話下されました。

先ほど申しました通りこのお話は少年会の年頭幹部会でのお話でした。

少年会員の育成の上で念頭に置いてもらいたいこととして少年会担当の人達に対してお話下されたのですが、このお話の中でも私が特に強く心に残ったのは「消極的」という言葉です。「生かされているというのを消極的に感じる」というような三代真柱様のお言葉に「えっ」と驚いたことを覚えていきます。

我々人間は親神様によって生かされているというのはお道の教えの中でもよく言われることですが、それに対して三代真柱様がこのようにおっしゃられた、このようにお考えであったということが、ある意味衝撃的でした。それと同時にすごく自分の中でスツとしたというか、腑に落ちるような感じがしました。なぜかという、それはその言葉が自身自身と重なる気がしたからです。

当時私は天理高校の男子寮、北寮で幹事をしておりまして。

ちよつと話は逸れますが、昨年10月、片山俊次三代会長様の30年祭にご本部より宮森与一郎先生がお入込みになられ、神殿講話の冒頭で三代会長様との思い出をお話し下されました。そのお話は宮森先生が青年会本部の副委員長の際に、北寮幹

事を本島から出していたきたいたいとお願いで詰所に來られて三代会長様と面会された時のお話でしたが、その時にお話していた、それで北寮幹事になったのが実は私ということ

とは言いながら、素直に「はい」と言つて北寮幹事になったわけではなく、一度は当時のよ志多会長様に「どうかこの話は断つてください」と必死になつてお願いもしました。でもそれが通るわけでもなく正直嫌々、

北寮幹事になつて初めて知つたのですが、北寮幹事制度は三代真柱様によつて始められたそうです。ですので、北寮幹事に対しては、三代真柱様は特に厚い親心をかけて下さつたように思います。

新任幹事研修会が終わつてから、幹事会全員でお宅にご招宴いただき、直接ご挨拶させていただきましたが、その時も喜びとか感激と言うよりも、渋々嫌々ながら幹事になった申し訳なさもあり、益々ともんでもないところに来てしまったなというふう

かん事をこなしながら過ごしながら、このお話を知つたわけです。

思い返せばこの大教会で生まれ育つた私は、三代真柱様がお話の中間で言うところの「消極的なもの考え方」で育つてきたようなところが

あるような気がしました。「小学6年生の時に「将来の夢」というテーマで作文を書いた時には、「大人になつたら青年さんになります」と書いていました。それは夢と言う

よりも、子供ながらに、もう自分の将来は決まっているんだという予定のようなものでした。そして子供の頃に考えていた予定通り、中学卒業後はおぢばの高校、大学に行つて、いよいよ青年として帰る直前に北寮幹事になつたのでした。

幹事生活の最中のことです。ある時、寮の自習時間に生徒の部屋を回っていると、漫画を読んでいる生徒がいました。その生徒は3年生で、受験が近づいている時期でしたので、私は「漫画読むもええけど、勉強頑張れよ。大学行きたいんやろ」と声を掛けました。するとその生徒は「まあ大学落ちたら落ちたで、教会帰るか本部勤務するわ」と答えました。その時に私はああ、この生徒も

俺と同じなんやなと思ひました。生徒を通して自分を見せられているような気がしました。

またある時、寮の幹事担当の先生と2人で、所用で尼崎まで車で出かけたことがあります。その道中、二人で何気ない会話をいろいろとしていたのですが、その中でその先生から「横山さんは退職したらどうするの?」と聞かれました。私はすぐに「退職したら大教会に帰つて、青年づとめします」と答えました。するとその先生は更に「青年に帰つて何するの?」と聞かれました。そう聞かれた時、私は答えに窮してしまいました。もちろん青年として大教会の整備や草刈り、鼓笛隊活動や和太鼓。青年としてやらなければならぬことはいろいろと思ひつきましたが、このとき先生が聞いたのはそういうことではないように思ひました。青年として帰つて、やりたいことはあるのかと聞かれたのに対して、何も答えることはできませんでした。

北寮幹事としてこうした日々を通つていた私には、この三代真柱様のお話の中の「消極的なもの考え方」とか「自主的な責任感がないような」とか「ロボットのようないかな」

お言葉が、一つ一つ自分のこととして腑に落ちたように感じたのです。

じゃあどうすればいいのか。三代真柱様は生かされているから一歩進んで生かさせていただくというように仰られています。三代真柱様のお話から自分なりに考えてみました。

単純に「生かされている」という言葉だけで考えると、何か受け身なような、受動的なような感じがします。「生かさせていただく」と言うと、自ら動いている感じ、能動的で積極的な感じがします。自分なりに考えた結果、生かされているから一歩進んで、生かさせていただくというのは、ただ与えられた事に対して受けて、自ら動きなさいということなのかと思うようになりました。

それからは例えば部屋周りをしているもただ勉強しろよと言うだけでなく、ちょっとした雑談を試みたり、用木コースの授業でもただ与えられたテキストをなぞるだけでなく、自分なりに資料を調べたり、付け加えたり、自分の経験談を話したり、また休みの日に他の幹事さんに声を掛けて生徒を連れて天理から奈良公園まで神名流し、路傍講演に出かけ

てみたり、自分自身の体験談を増やしたいと思って、夏休みに広島まで寝袋を持ってヒッチハイクしてみたり、東京まで自転車に乗って行ってみたりしました。

こうして三代真柱様のお話がきっかけの一つとなって、私の幹事生活も少しずつ楽しいと思えるようになっていきました。ある時、卒業間近の3年生に「横山さんは2年目の途中まで大嫌いやった」と言われましたが、その言葉を聞いた時には「そりゃそうやろ、俺元々幹事になりたくなかったし、やる気なかったんやから」と言うふうに応えました。

そんなことを言ったものの、今はそう言ってくれるようになったことが嬉しく感じたりもしました。そのうちに私は幹事を退職したら青年に帰って、三年つとめたら布教の家に帰ろうと思うようになり、実際青年を3年勤めて布教の家に行きました。またいつかは一度は大教会やおぢばから離れて、世間にも出てみようと思うようにもなり大教会100周年が終わった後に、和歌山に出させて頂いたりもしました。

もちろん三代真柱様の言葉だけではなく、生徒や先輩、後輩、同期の

幹事さん、寮長先生はじめ周りの諸先生方を通して様々なことを考えさせられ、最初は嫌々、渋々始まった北寮幹事の生活は、3年の任期を終えて退職するときには幹事になって良かったと思えるようになっていました。そう思えるようになったのも、元をたどれば三代真柱様のお言葉があったからだと思います。まさにこの言葉に導かれながら、北寮での3年間を充実して終わることができました。

さて、今年一年を振り返るところから、三代真柱様のお言葉、そしてそれに気づかせていただいた私の昔話をさせていただきますが、話を今に戻したいと思います。

今年の10月の本部長秋大祭で真柱様ご挨拶下されました。

真柱様は能登半島の地震を引き合いに出されながら、三年千日の年祭活動の通り方をお話し下されました。その中で真柱様は「三年千日の期間中は、動かしていただくことが大切であります」と仰せになりました。

その言葉を聞いた時に私は、また改めて三代真柱様のお言葉を思い出したのです。動くというのは積極的

になるということ、すなわちそれは三代真柱様が仰られた「生かさせていただく」という考え方に重なるように感じました。

真柱様は三年千日の通り方としてお話し下されました。三代真柱様は少年会員を育成していく上で念頭に置いてもらいたいこととしてお話し下されました。お話し下された場面は違うものの、求めておられる姿は重なるように思えました。お二方のお言葉を忘れずに通っていかなくてはならないと思うようになったこともあり、最近私はお節会の案内のチラシを自分で作って、ちょこちょこ配らせてもらっています。

動くにしても先ずは小さいことから始めてみようと思えました。大教会の成人目標にもまず一人、おぢばへ帰らせていただくことがありますので、そういう人ができたらええなあと思いつつ配っているのですが、配ると言ってもそこらじゅうに配るのではなく、丸亀に行ったりによく行くお店の人に渡してみたりとか、いつも髪を切りに行く美容室で担当してくれる子に渡してみたりとか、母が世話になってるケアマネージャーさんに渡してみたり。つ

い先日の日曜日には、観光で本島に来て大教会まで上がってきた20人程のグループがあったので、神殿にも上がって頂いて、大教会のいろんな説明をした後に、お節会の案内もして、チラシを渡したりしました。

デイサービスに通う母にもチラシを持たせて、誰か渡したい人がおいたら渡して来いとお話をしたりしました。確かにこれで一人でもおぢいへお連れする人ができれば有難いのですが、でも厳しい見方をすればチラシ1枚でそんな人ができるのとはとても難しいのもよく分かっています。でも、消極的になって何もしないよりも小さいことでもとりあえずやってみる、動いてみることから始めようと思います。

後々この三年千日を振り返った時、やらなかったことを思い出すよりも、できなかったことを思い出すほうがマシだと思っからです。

それともう一つ、動こうとする上で邪魔になるもの、言い訳にしがちなものが、年齢のことだと思えます。私もええ歳になってきたんですけども、もう歳やし若くないんやからとか、若いもんに任せてとか、ついつい言いがちです。

確かに自分も若いころを振り返ってみると、あの頃の勢いはないなあと思いますし、実際しんどいと思うこともあります。そんな時には私は若くて勢いのある人達に乗っかっていこうと思います。私が神戸から大教会に帰ってきたのは大教会120周年記念祭のちょうど1年前でしたが、帰って来てみると毎週土日に青年会が集まってきてました。どないしたんやと聞いてみると、ウィーケン隊と称して翌年の記念祭まで毎週土日に大教会に伏せ込ませてもらいますと聞きました。

確かに大教会では特に若い人手がなく、来てくれるのはありがたいのですが、毎週土日と聞くのと正直「大丈夫かな？正気かな、ほんまにできると思ってるのかな」と思いました。それでも彼らは毎週何人か大教会にやって来ました。そして他系統の子や未信者の子も巻き込んで、1年間やり切りました。

若い人達には私にはない、活気、勢いがあるなということを実感させていただきました。一緒に動く力をもらえるような気もしました。彼らの勢いに引っ張ってもらって、一緒に動いていければいいなというふう

にも思います。おふでさきに

わがみにハもふ五十うやとをもへとも 神のめへにハまださきがある (二号63)

とのおうたがあります。

来る来年、私は真柱様、三代真柱様のお言葉を胸に、若者の力も借りながら、三年千日最後の年を自分なりに考えて、動いて、生きさせていただく年にしていきたいと思っています。

来年5月には斯道会別席団参もありません。先ほど大教会長様は1月の青年会ひのきしん隊の案内もされておりました。一人ひとりの動きもあります。大教会とか大きい動きもあります。まわりのそういった動きにも乗っかりながら、皆様方にとっても来年1年間、明るい1年になりますように祈念して私の講話を終わらせていただきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

(文責・本島通信編集室)



大教会長動向

▼1月(予定)▲

- 1日、大教会元旦祭
 - 4日、本部年頭挨拶
 - 5日〜7日、お節会ひのきしん
 - 12日、渋谷分教会巡教
 - 13日、本京分教会巡教
 - 14日、霊峰分教会遷座祭
 - 15日、赤峰分教会巡教
 - 18日、本邦分教会巡教
 - 22日、大教会春季大祭執行
 - 25日、かなめ会委員会
 - 26日、本部春季大祭参拝
 - 27日、かなめ会
 - 29日、宇野志げ子刀自1年祭参拝
 - 30日、本部神殿奉仕当番
- 以上

訃報

上野節子姉(本島大教会役員夫人)は8月25日午後7時30分お出直しになりました。享年84歳。

葬儀は家族だけで執り行われました。

井上爾美姉(南峰分教会2代会長夫人)は12月8日午前4時お出直しになりました。享年73歳。葬儀は家族だけで執り行われました。

十二月月次祭 祭典役割

神殿講話	胡三味線	片山孝代	片山榮	老木邦光	窪田靖明	寺本教生	井上哲	永山晴明	岩橋竜造	てをどり	地方	座りづとめ	大教会長	西山道教	平井真治郎	篠原丕王	てをどり前半	てをどり後半			
	片山孝代	片山榮	老木邦光	窪田靖明	寺本教生	井上哲	永山晴明	岩橋竜造	大教会長				西山道教	後藤正治	奥村龍夫	伊東康成			長尾海和	吉田知彦	河村旬一
	片山孝代	片山榮	老木邦光	窪田靖明	寺本教生	井上哲	永山晴明	岩橋竜造	大教会長				西山道教	後藤正治	奥村龍夫	伊東康成			長尾海和	吉田知彦	河村旬一

献饌長 平井真治郎
伝供 永島宗行・大上道徳・原口実・後藤正治・奥村龍夫・伊東康成・高垣光治・片山直明・横山正次・長尾海和・窪田卓夫・岩橋秀一・香川勝巳・鎌田典夫・位下道治・滑川善久・宮路和徳・橋口徹・村田輝夫・河村旬一
 古井信・上山康雄・川村吉夫・溝口晋太郎・肥後信・伊東孝之・江崎大・江草克二
雅楽奉仕者 文岡育則・香川高範・片山秀明・上山薫・伊東賢太郎・内橋和博・神前和博・鎌田康典・香川靖幸(順不同)

十二月月次祭祭文

立教百八十七年十二月二十二日

この神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教本島大教会長片山幹太慎んで申し上げます
 親神様の自由の御守護と厚き親心のまにまに日々結構にお連れ通り頂く中に今日は早くも納めの月次祭を執り行う日柄となりました
 思い返せば本年は教祖百四十年祭への三年千日二年目世界にお見せ頂く緊張の高まりや紛争は論達に「今日、世の中には他者への思いやりを欠いた自己主張や利那的行動があふれ、人々は己が力を過信し、我が身思案に流れ、心の闇路をさまよっている」とご指摘くださっているとおりの様相であります
 改めて年祭活動の意義と論達第四号に込められた真柱様の思いを胸に教祖百四十年祭に心を向けて人々の心の入れ替えを目指す決意でございます
 ここに一年の歩みを振り返り常に変わらぬお導きにお礼申し上げ只今よりおつとめ奉仕者一同心を澄ませ一手一つに座りづとめてをどりを陽気に勇んで勤めて十二月の月次祭を執り行わせて頂きます
 御前には寒さ厳しい中もいとわず大勢の教え子達が感謝の心もひとしおにおうたを唱和して共に御礼申し上げる真実の状

を御覧下さいまして親神様にもお勇み下さいませようお願い申し上げます
 私共教会長ようばく信者一同は今年一年におかけ頂きました親心と御守護の数々に心より御礼申し上げます併せてこれまでの取り組みを見つめ直し年祭活動仕上げの一年を固い決意のもとに勇み心を奮い起して教祖にお応え出来るよう通らせて頂きたいと存じます
 何卒来る年も変わることなくお連れ通り下さり併せて一日も早い世の治まりの御守護をお見せ頂けますよう一同と共に慎んでお願い申し上げます
 (原文のまま)

入社祭 (立教187年12月22日)

▼台榿△カイ・テイニングファ・タイガ・ソー

【計1名】

12月22日(日)
【香川県丸亀市】

天候 晴後一時雨一時曇

最低気温 5.8℃

最高気温 10.5℃

平均気圧 1017.5 hPa

平均湿度 60%

平均風速 4.5 m/s

日照時間 2.0 時間

降水量 0.0 mm

本島野球部3位入賞

本島大教会野球部(岡崎八十則部長)は第51回全教野球大会(11月29日~12月1日、白川グラウンド)に出場。負けたら終わるトーナメント戦にて、16年ぶりとなる最終日目で勝ち続け、3位入賞を果たしました。

初日、第1回戦は山名大教会に6対2で勝利。2日目の第2回戦は教庁水道課と対戦し1対1同点。規則に従い決戦ジャンケンで勝利をつかみ取り、第3回戦へ。高安大教会に7対3と勝利。

最終日の準決勝戦では、名東大教会に惜しくも2対4で敗れました。なお本大会は、本島を破った名東大教会が決勝戦に勝利し大会の幕を閉じました。



事情はこび

立教187年12月、本島関係のお運びはありませんでした。

おさづけの理拝戴

(立教187年11月分)

- 樺太 平井勇成
- 本都 上野暉心
- 本太 佐藤大誠
- 崇徳 高垣さとえ
- 神峰 富山愛美
- 神峰 橋口好孝
- 栄東峰 千葉秀樹

【計7名】

教会長資格検定合格

(立教187年11月17日付)

- 肥後八峰 肥後 信
- 肥後八峰 肥後節子

【計2名】

をびや許し

(立教187年11月分)

- 赤峰 安東里奈
- 赤峰 阿部慶子
- 鶴峰 森田理美

【計3名】

統計 (11月1日~30日)

布教部報告(12月分) 数字は本年の提出回数です

教会名	初席	中席	妻の座	修料	教人講習	検定講習	にをいかけ名簿提出教会(12月)			おさづけ取次報告教会(12月)		
							本島	本米浜	赤峰	本島	本千代	赤峰
樺太			1				本島 6	本米浜 10	赤峰 12	本島 12	本千代 12	赤峰 12
本田中		1					樺太 12	本千代 12	雅峰 12	樺太 12	本千賀 10	雅峰 12
御幸濱		1					本田中 7	本千賀 7	神峰 7	本田中 6	本千治 9	神峰 5
本都			1				本倉岡 11	本千治 10	豪峰 12	本倉岡 11	本千恵 6	豪峰 12
本太			1				本樺 12	本千恵 5	倉峰 12	本陸奥 2	本葵 1	倉峰 12
崇徳			1				本室 9	本葵 1	雄福峰 12	本樺 12	本攝 12	大雄峰 10
赤峰		1					渋谷 9	本攝 12	雄山峰 7	本室 9	攝津 10	雄福峰 12
雅峰		2					代々木 9	攝津 9	栄森峰 10	渋谷 8	攝泉 12	雄山峰 10
神峰		1	2				本萬代 9	攝泉 9	栄星峰 10	代々木 9	本太 12	栄森峰 9
倉峰		3					本都 11	本太 5	栄東峰 11	本萬代 9	本岡 5	栄東峰 9
栄森峰	1						本京 12	本備前 12	霊峰 11	本都 10	本福 3	霊峰 11
栄東峰			1				本東 8	本府中 12	實峰 10	本京 12	本備前 12	大隅聖峰 10
大隅聖峰	1						本草 12	沖浦 12	大隅聖峰 11	本東 8	本府中 11	大松峰 11
吉松峰		1					本護 9	本清水 7	大松峰 9	本道盛 11	沖浦 12	大駿峰 12
肥後八峰					2		本三 10	崇徳 12	大駿峰 11	本草 12	本清水 9	別峰 10
銀峰		1					本恵 12	本高 8	別峰 10	本護 7	崇徳 11	吉松峰 6
鶴峰	1						本恵明 12	本宣道 10	文峰 11	本三 10	本廣 4	肥後八峰 12
合計	3	11	7	0	0	2	本静濱 11	本九 12	都峰 12	本恵明 12	本高 12	新信峰 11
							本静森 10	本小倉 4	仙峰 12	本静濱 11	本小倉 7	都峰 11
							本日米 12	本陽山 12	ハリウッド 3	本日米 11	本陽山 12	仙峰 12
							本米 10	本肥港 7		本米 12	本肥港 12	カガバウツ 7
							本米里 12	本新田 12		本米里 12	本新田 11	ハリウッド 9
										本米浜 12	本九台 7	
							計64教会	722名		計70教会	1,857回	



- 選を突破(高松市立東部運動公園)
- 6.30 本千代分教会布教勉強会(吉田晴雄会長、18名参加)
- 7.4 吉松峰分教会2代会長就任奉告祭(吉野正晃会長)
- 7.6 青年会本島分会レッツゴー青年会 with 栗太分会(栗太分教会にて本島分会より11名参加)
- 7.9 おやさと練成会英語コース事前合宿(16日まで本島詰所にて12名参加、うち本島から3名)
- 7.22 大教会7月月次祭(神殿講話:鳥澤繁實役員・米国より動画による)
- 7.22 松本鴻二本速分教会6代会長出直し(享年89歳)
- 7.26 本福分教会神床位置変更願お運び(上田敬子会長)
- 7.26 カイムキ教会任命・移転・改称・御目標様再奉祀願お運び(任命:鈴木テイジ・ダニエル、改称:ニュービギニング教会)
- 7.26 本島団鼓笛隊第112回夏季合宿(31日まで本島詰所、99名参加、30日の鼓笛オンパレードは本隊がR.Y.G.で金賞受賞、ドリーム隊はさんぼとコーヒーブレイクで奨励賞受賞)
- 7.27 立教187年こどもおちばがえり(8月4日まで教会本部、本島団からは帰参教会75教会、帰参総数433名)
- 7.27, 28 台檀教会移転鎮座奉告祭(リン・ミツノ・ソー会長、参拝者70名)
- 7.29 MOMOの会(30日まで本島詰所、20名参加、女鳴物勉強会)
- 8.9 学生生徒修養会高校の部(13日まで教会本部、学生7名、スタッフ5名参加)
- 8.11 四辻信子本陽泉分教会3代会長1年祭(四辻朝恵会長、参拝者28名)
- 8.13 赤峰少年会おとまり会(15日まで赤峰分教会、向所隆文会長、14名参加)
- 8.16, 17 ニュービギニング教会鎮座奉告祭(鈴木テイジ・ダニエル会長、参拝者107名)
- 8.18 本島学生会サマーキャンプ(20日まで大教会、学生20名、担当委員5名参加)
- 8.20 少年会本島団第34回総会と夏のつどい(21日まで大教会、38名参加)
- 8.20 女子青年こかん様に続く会(大教会、11名参加)
- 8.20 青年会本島分会あらきとうりょう入門塾(大教会、10名参加)
- 8.22 大教会8月月次祭(神殿講話:高島栄造准役員)
- 8.23 能登半島復興支援有志隊第二次隊(25日まで、2名出動)
- 8.25 上野節子大教会役員夫人出直し(享年84歳)
- 8.25 宮森与一郎先生によるおてなおし(本島詰所、68名受講)
- 8.25 片山好次・本部青年見習いづとめ
- 8.25 片山香葉子・3年間の本部女子青年づとめを終える
- 9月 全教会布教推進月間
- 9.7 青年会本島分会秋季雅楽講習会(8日まで本島詰所、京城分会6名と合同で本島分会10名参加)
- 9.15 本島大教会直属おちばがえり団参(片山幹太会長、35名参加)
- 9.22 大教会9月月次祭(神殿講話:長尾啓子准役員)
- 9.22 婦人会本島支部ひのきしん(大教会、鼓笛隊の練習着ゴム入替え、14名参加)
- 9.23 大教会秋季霊祭(14霊)
- 9.25 片山かおり支部長、婦人会本部委員に任命される
- 9.26 教会長登殿参列(第7回)
- 10.1 教会本部修養科第1000期(12月27日まで一期講師:向所隆文)
- 10.2 片山幹太大教会長タイ・インドネシア巡教(9日まで)
- 10.13 第10回本京の集い(本京分教会、牧野道昭会長、59名参加)
- 10.13 青年会本島分会・能登半島地震被災地ひのきしん(6名出動)
- 10.19 青年会本島分会マンスリー隊(第1回、20日まで大教会、20名参加)
- 10.21 宮森与一郎先生によるおてなおし(本島大教会)
- 10.22 大教会秋季大祭(神殿講話:世話人宮森与一郎先生)
- 10.24 本部大裏地区稲刈りひのきしん(約40名参加)
- 10.25 大教会布教部主催ようばく研修会(本島詰所、119名受講、講師:茶木谷吉信・大江部属正代分教会長)
- 10.26 本樺分教会臨時祭典願お運び(大上道徳会長、創立百周年記念祭)
- 10.26 おちばがえり団参(本九分教会26名、新信峰分教会25名、鶴峰分教会23名、文峰分教会15名、栄森峰分教会13名など)
- 10.27 天理教青年会第98回総会(本島分会より38名参加)
- 10.28 伊東賢太郎(本備前分教会後継者)・むつき(旧姓速水、日光大教会)結婚
- 11.2 青年会本島分会・関東の集い(渋谷分教会、45名参加)
- 11.7 青年会本島分会マンスリー隊(大教会、10名参加)
- 11.22 大教会11月月次祭(神殿講話:窪田靖明役員)
- 11.26 霊峰分教会建築模様替及神殿屋根葺替願(宮路和徳会長)
- 11.29 第51回全教野球大会にて本島大教会野球部は準決勝まで勝ち進み3位入賞(12/1まで、白川グラウンド)
- 12.8 井上蘭美南峰分教会2代会長夫人出直し(享年73歳)
- 12.21 青年会本島分会マンスリー隊(大教会、16名参加)
- 12.22 大教会12月月次祭(神殿講話:横山正次准役員)
- 12.26 教会長登殿参列(第8回)



本島通信で振り返る 立教187年の出来事

- 1.1 大教会元旦祭
- 1.9 沖野八重子本恵分教会2代会長夫人出直し(享年92歳)
- 1.12 本島団鼓笛隊第48回北海道地区冬季合宿(14日まで樺太分教会、6名参加)
- 1.13 青年会本島分会新春雅楽講習会(14日まで本島詰所、8名参加)
- 1.13 向所トヨエ赤峰分教会初代会長夫人30年祭(向所隆文会長、参拝者108名)
- 1.21 岡崎俊郎役員・与島分教会6代会長出直し(享年89歳)
- 1.22 大教会春季大祭(神殿講話：片山幹太大会長)
- 1.22 教祖140年祭に向かって天理教少年会本島団少年会員成人目標を発表
- 1.24 高島百年子役員夫人・撫川分教会6代会長夫人出直し(享年86歳)
- 1.25 教祖140年祭教会長夫妻おたすけ推進のつどい(本島詰所、74名参加、松村義司・本部たすけ委員長)
- 1.27 本部かなめ会において、葬儀の祭儀式一部変更が発表(祓詞と祓行事はなし、玉申は用いず礼拝のみ、教服での葬儀執行可)
- 2.1 山本政美本千房分教会2代会長出直し(享年90歳)
- 2.17 肥後章文峰分教会3代会長出直し(享年59歳)
- 2.22 大教会2月月次祭(神殿講話：井上哲役員)
- 2.25 宮森与一郎先生によるおてなおし(本島詰所、54名受講)
- 2.25 片山幹太郎本部青年見習いづとめ始まる
- 2.26 教会長登殿参列(第4回)
- 3.2.3 本米分教会移転鎮座奉告祭(白鳥有子会長)
- 3.4 学生生徒修養会大学の部(3月4日～8日、本島より学生5名、スタッフ1名参加)
- 3.10 学生生徒修養会高校卒業生コース(3月10日～12日、本島より学生2名、スタッフ2名参加)
- 3.14 宮路正道霊峰分教会初代会長40年祭(宮路和徳会長、参拝者50名)
- 3.22 大教会3月月次祭(神殿講話：久尾智代役員夫人)
- 3.23 大教会春季霊祭(23霊)
- 3.28 春の学生おちばがえり(本島学生会より学生27名、担当委員9名参加)
- 3.28 本島団鼓笛隊第111回春季合宿(4月1日まで本島大教会、89名参加)
- 3.28 MOMOの会(31日まで本島大教会、26名参加、鼓笛隊応援ひのきしん、接待作法勉強会)
- 4.5 石井常正本肥分教会2代会長出直し(享年85歳)
- 4.14 大教会4月月次祭(神殿講話：茶屋原良昭准役員、祭典後教祖お誕生まつり)
- 4.14 大教会辞令：本島学生会(委員長：片山直道、副委員長：高垣ひかり、委員：山内彰子・片山昇太・長尾直太郎・片山菜々)
- 4.17 第2回教祖140年祭教会長夫妻おたすけ推進のつどい(本島詰所、48名参加、松村孝吉本部准員)
- 4.17 根岸正行本埼玉分教会2代会長出直し(享年82歳)
- 4.18 婦人会本島支部の集い(本島詰所、111名参加)
- 4.18 神峰分教会別席団参(橋口徹会長、42名婦参)
- 4.19 天理教婦人会第106回総会(本島支部より約140名参加)
- 4.19 青年会本島分会・能登半島地震被災地のきしん(21日まで本島分会より9名参加)
- 4.26 教会長登殿参列(第5回)
- 4.26 台檀教会移転願お運び(リン・ミツノ・ソー会長)
- 5.11 本太分教会おちばがえり団参(佐藤道子会長、10名婦参)
- 5.22 大教会5月月次祭(神殿講話：伊東康成准役員)
- 5.22 大教会辞令：青年会本島分会(委員追加6名)
- 5.22 大教会ツツジ剪定ひのきしん(26日まで有志11名)
- 5.25 宮森与一郎先生によるおてなおし(本島詰所、54名受講)
- 5.25 宮路茂照大隅聖峰分教会初代会長出直し(享年82歳)
- 5.26 神峰分教会神殿建築願お運び(橋口徹会長)
- 5.26 大松峰分教会任命願お運び(任命：松下尚一)
- 5.26 吉松峰分教会任命願お運び(任命：吉野正晃)
- 5.26 渋谷分教会おちばがえり団参(永島宗行会長、28名婦参)
- 5.26 能登半島復興支援有志隊第一次(28日まで、9名出動)
- 5.31 神峰分教会遷座祭(橋口徹会長)
- 6月 おやさとふしん青年会ひのきしん隊70周年記念隊(本島分会より期間中の5日間、13名参加)
- 6.2 田中佑三本桶川分教会4代会長出直し(享年89歳)
- 6.2 カカコ教会創立90周年記念(木村バロン会長、参拝者32名)
- 6.9 大松峰分教会3代会長就任奉告祭(松下尚一会長、参拝者70余名)
- 6.9 本樺分教会2代会長大上武次50年祭・2代会長夫人大上みさを10年祭ならびに3代会長大上道吉10年祭(大上道徳会長、参拝者約50名)
- 6.22 大教会6月月次祭(神殿講話：学生層育成者講習会として講師：飯降好助本部学生担当委員)
- 6.24 中山善衛三代真柱様10年祭(教会本部)
- 6.25 本部大裏地区田植えひのきしん(40名参加)
- 6.26 教会長登殿参列(第6回)
- 6.29 片山□志50年祭・照50年祭ならびに片山博治10年祭・片山肇1年祭(本島大教会において、参拝者81名)「□」は上部が「竹」下部が「中」の外字
- 6.30 本島大教会野球部は第51回全教野球大会香川県予



斯道会別席団参

【別席団参担当】

さあ、年祭活動仕上げの年
ご存命の教祖にお喜びいただこう

●実施日：立教188年(2025年)
5月25日(日)、11月30日(日)



教会長夫妻おたすけ推進のつどい

【年祭活動実行委員会】

- 日時：立教188年1月25日(土) 午後1時より
 - 場所：本島詰所4階講堂
 - 対象者：教会長及びその配偶者、直属教会長が認めた者
 - 参加御供：一人500円
 - 内容：DVD視聴、おたすけワークショップ、ひのきしん等
 - 参加申込：1月20日まで大教会へ申込書をご提出ください。
- ※詰所宿泊食事の申込みは、各自で詰所事務所へご予約ください。

<https://www.honjima.com/>

学修・大学の部

【本部学生担当委員会】

学生生徒修養会・大学の部

- 期間：令和7年3月4日(火)～3月8日(土) (4泊5日)
- 受講対象：①令和6年12月25日現在、大学・短期大学・大学院・専門学校・高等専門学校(4年以上)に在学している者。②全期間を通して受講できる者
- 申込期間：令和6年12月25日～令和7年2月15日
- 受講御供：10,000円(当日まで詰所に納めてください)
- 詳細につきましては、雲庵春彦(090-2515-8039)、横関茂治(090-1138-1690)までお問合せください。

学修・高校卒業生コース

【本部学生担当委員会】

学生生徒修養会・高校卒業生コース

- 期間：令和7年3月10日(月)～3月12日(2泊3日)
- 受講対象：①令和6年度高等学校卒業予定者。②全期間を通して受講できる者
- 申込期間：令和6年12月25日～令和7年2月15日
- 受講御供：5,000円

おやさとふしん青年会ひのきしん隊

【青年会本島分会】

- おやさとふしん青年会ひのきしん隊
- 隊期：立教188年1月11日(土)～13日(祝) 11日は家族入隊日です
- 宿泊：第百母屋(日帰り入隊も可能)
- 担当：伊東賢太郎 (080-8738-8349)

鼓笛隊北海道地区冬季合宿

【本島団鼓笛隊】

本島鼓笛隊第49回北海道地区冬季合宿

- 期間：1月11日(土)から13日(祝)
- 会場：本室分教会
- 派遣指導員：佐藤道子、奥村由多加

1月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈大教会・食堂ひのきしん〉

- 期間：1月21日～22日
- 派遣教会：本攝分教会

〈詰所・春季大祭世話取りひのきしん〉

- 期間：1月24日午後8時～26日午後3時頃、写真の間にて集合解散
- 派遣教会：本室、渋谷、本浜、本攝、本柳、本岡、安藝本中、本豊後各教会1名、赤峰2名

青年会マンスリー隊

【青年会本島分会】

おもに祭典準備ひのきしんを行います

- 実施日：立教188年(2025年)1月19日(日)、2月23日(日)

春季雅楽講習会

【青年会本島分会】

- 日時：立教188年2月1日(土)9時集合、2日(日)15時解散
- 場所：本島詰所
- 内容：壱越調と平調の練習をします。京城分会との合同開催です。

大教会春季大祭ライブ中継

【本島通信編集室】

- 対象：1月22日大教会春季大祭に帰参できないため、ライブ中継視聴を希望する方
- 申込方法：メールで、live@honjima.comに「ライブ希望」と「教会名・氏名」を記入してお申し込みください。当日朝までにライブ視聴できるアドレスをメールでお知らせします。
- 申込締切：1月21日午後5時まで
- ご注意：ライブ中継は毎月のお申し込みとなります。申込み後、自動返信メールが送られます。届かない場合は各自の迷惑メールフォルダをご確認ください。

